

名古屋教育記者会各社 殿

平成 27 年 12 月 1 日

国立大学法人名古屋大学 <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

株式会社ティアフォー <http://www.tier4.jp/>

名古屋大学発ベンチャー「株式会社ティアフォー」、始動 ～自動運転技術のオープンイノベーション創出へ～

名古屋大学の自動運転技術に関する研究開発成果を利活用し、自動運転の認知、判断、操作にかかる機能モジュール、並びにその情報処理プラットフォームを提供する大学発ベンチャー企業「株式会社ティアフォー」を設立しました。名古屋大学らが開発しているオープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware」を基盤としたソリューションを展開することで、メーカーの先行開発から大学の最先端研究まで幅広いニーズに対応し、将来の自動運転技術のオープンイノベーション創出に貢献していきます。

【ティアフォーの事業計画】

市街地等の複雑な環境を想定した完全自動運転のためには、高度な自己位置推定、物標認識、運転行動判断、車両制御などが求められる。ティアフォーでは、Autoware を活用してこれらすべての要素技術をプラットフォーム化し、汎用 PC や車載 ECU に搭載して販売する。Autoware に必要となるライブラリのインストールや各機能モジュールのパラメータ設定を完了した状態で出荷することで、ユーザが自動運転の研究開発を開始する際に要する初期コストを低減する。また、実車両やセンサを購入しなくても研究開発を進められるように、シミュレーション機能とそれに必要な実環境走行データサンプルも提供する。そのほかに、複眼カメラと3次元レーザスキャナを組み合わせた統合型環境センサや自動運転システムの操作を簡易化するスマートタブレットなども販売する。これらの技術は文科省 JST センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムでの研究成果に基づいています。

また、製品販売だけではなく、大学発ベンチャーの利を活かした自動運転技術者の人材育成事業も展開する。自動運転技術はコンピュータサイエンスから人工知能まで、その専門分野は多岐にわたる。個々の企業では育成できない自動運転技術者のために、技術テーマごとのセミナー講習や実車両を用いたテストコース走行実習、オンライン教育などを提供する。これらの仕組みは文科省 JSPS 博士課程教育リーディングプログラムの支援を受けて培った経験に基づいています。

ティアフォー単独での事業に加えて、自動運転 EV や高信頼リアルタイム OS の開発、3次元高精度地図データの配信など、今後の自動運転市場のコアになる製品サービスについても、パートナー企業と協業していき、2020 年までに年間 10 億円の売り上げを目標にします。

【ティアフォーの経営体制】

名古屋大学の加藤真平准教授が代表取締役会長兼最高経営責任者 (CEO)、ソフトウェア開発を手掛ける株式会社アックスの竹岡尚三社長が代表取締役社長に就く。そのほかに、名古屋大学の二宮芳樹教授、武田一哉教授、河口信夫教授、インテルキャピタルの出川章理氏らが役員を務める。

問い合わせ先

<事業内容>

名古屋大学大学院情報科学研究科

准教授 加藤 真平

TEL : 052-789-4597

E-mail : shinpei@is.nagoya-u.ac.jp

<報道対応>

名古屋大学総務部広報渉外課

TEL : 052-789-2699

FAX : 052-788-6272

E-mail : kouho@adm.nagoya-u.ac.jp